

持続可能な社会と国際平和の創出シンポジウム

広島から持続可能な国際社会を創る

～SDGs(エスディーゼズ)の取組を通じて～

■日時・場所

2017年12月25日(月) 13:00～14:30 [開場12:30]

【場所】サテライトキャンパスひろしま5階 505中講義室
広島市中区大手町1丁目5-3

定員
50名
入場無料
(要事前申込)

持続可能な開発目標(SDGs:エスディーゼズ)をご存じですか。2015年9月、ニューヨーク国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」において採択された人間、地球及び繁栄のための行動指針のことです。

ここでは「誰一人取り残さない-No one will be left behind」の理念のもと、貧困撲滅、気候変動、健康・福祉、平和など国際社会が直面する課題の解決のため、各国における民間企業や市民社会の役割の重要性が強調されています。

この世界的な潮流に乗り遅れないために、私たちはSDGsとどのように関わっていけば良いのか、このシンポジウムを通して考えてみませんか。SDGsに興味がある方はどなたでもご来場ください。



■プログラム・登壇者

12:30～ 開場

13:00～13:50 第1部 講演

1 「世界に広がるSDGsの潮流と国内の動向」

地球環境戦略研究機関(IGES)都市タスクフォース
プログラムディレクター 藤野純一氏

2 「SDGsの達成に向けた広島大学の取組」

広島大学大学院国際協力研究科 教授 片柳真理氏

3 「地域の課題解決をSDGsにつなげよう」

環境省中国環境パートナーシップオフィス
中国地方ESD活動支援センター
事務局長 松原裕樹氏

13:50～14:30 第2部 パネルディスカッション

「SDGsをどのように捉え、将来に向けてどう取り組むべきか」

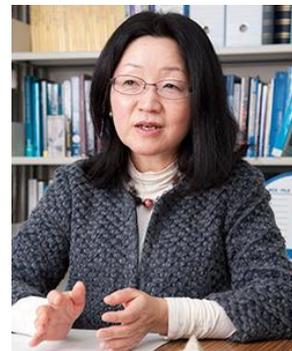
司会進行 広島大学副学長 丸山恭司教授



藤野純一氏
1972年生まれ。大阪育ち。2000年より国立環境研究所、2016年からIGES兼務。温暖化目標値議論、「環境未来都市」構想、東京五輪持続可能性計画等に携わる。

片柳真理氏

平和維持・平和構築の国際経験を経て広島大学大学院国際協力研究科教授・副研究科長。法学博士。



松原裕樹氏

1982年広島生まれ。2012年よりひろしまNPOセンターに勤務。内閣府認定地域活性化伝道師。



主催
お問い合わせ

ひろしま平和研究・教育機関ネットワーク事務局

(広島県平和推進プロジェクト・チーム)

TEL:082-513-2368 FAX:082-228-1614 E-Mail: chiheiwa@pref.hiroshima.lg.jp

